

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ポストコロナを見据えた地域コンテンツ集約・プロモーション事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人松本市アルプス山岳郷 0263-94-2221 / office@alps-kanko.jp
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,764,000 円 (うち支援金: 4,611,000 円)

事業内容

- 地域内アクティビティコンテンツの収集
事業者と連携し検討会議を実施。地域内のアクティビティをリスト化し、一元化。
- 山岳郷マップの作成
収集したアクティビティを網羅したマップの日本語、英語版の二種類作成。完成後各案内施設及び風穴の里・松本コンベンション協会等に配布
- Web サイトコンテンツページへの情報掲載・運用
マップ掲載の詳細情報を山岳郷サイト内へ掲載
- ネット広告を活用したプロモーション
Google 広告を活用したバナーおよびリスティング広告出稿。



【作成した山岳郷マップ(日本語版)】

【目標・ねらい】

- ① 地域内コンテンツの集約
- ② 地域一体となった情報発信、予約へ繋がる仕組みづくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①収集コンテンツ数：(実績) 32
- ②Google 広告表示回数：
(実績) 54 万回 / クリック数：2 万回
・WEB サイトセッション数：(実績) 41,791

<考察>

地域内で実際にアクティビティを販売している事業者から 32 個のコンテンツを集約し、一体的な発信ができた。一方、広告でのサイト流入以外の流入経路が確保できなかったため、今後は相互リンク等の施策が必要。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和4年度より、制作したアクティビティガイドマップをエリア内各所で活用することで、地域間の周遊を促すとともに、掲載しているガイド事業者のWEBサイトと本事業で制作したALPS CONCIERGE ページを相互リンクで繋ぐことで、旅前でのより一体的な情報発信も推進していく。

※自己評価【 B 】

【理由】

地域内アクティビティ事業者から 32 のコンテンツを集約し、WEB サイトへ掲載できた。また、サイト誘因のツールとしてガイドマップを制作し、QR コードによる紙⇄WEBの導線ができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある